



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月8日
東・名

上場会社名 株式会社ヨシックス 上場取引所
 コード番号 3221 URL <http://www.yossix.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼CEO (氏名)吉岡 昌成
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 管理本部長 (氏名)大崎 篤彦 (TEL) 052(932)8431
 兼 経営企画室室長
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	18,709	4.3	2,036	△2.3	2,353	△2.0	1,256	△18.3
2019年3月期	17,934	14.4	2,083	26.6	2,401	22.6	1,538	25.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	121.83	121.49	17.3	22.0	10.9
2019年3月期	149.18	148.69	25.2	24.2	11.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 - 百万円 2019年3月期 - 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	10,789	7,784	72.1	754.24
2019年3月期	10,633	6,773	63.7	656.76

(参考) 自己資本 2020年3月期 7,784百万円 2019年3月期 6,773百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,092	△1,310	△302	5,230
2019年3月期	2,255	△957	△296	5,751

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	-	10.00	-	12.00	22.00	226	14.7	3.7
2020年3月期	-	12.00	-	12.00	24.00	247	19.7	3.4
2021年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 2021年3月期配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	10,321,200株	2019年3月期	10,314,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期	261株	2019年3月期	261株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	10,317,261株	2019年3月期	10,312,100株

※決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルスの感染拡大が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、今回の業績予想を開示していません。なお、今後適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(持分法損益等)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、企業業績の向上、雇用情勢や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が見受けられましたが、大型台風の関東上陸による自然災害や、消費増税による消費マインドへのマイナス影響が生じたことに加え、当事業年度終盤に発生した新型コロナウイルス感染症拡大による国内外経済の下振れリスク等、景気の先行き不透明感は非常に増しております。

外食業界におきましては、人材需給の逼迫に伴う人件費や採用コストの上昇、長引く人材不足、消費増税による影響、更には新型コロナウイルス感染症拡大防止のため政府や自治体による外出自粛要請等、経営環境は極めて厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社の主力業態は「や台ずし」業態、「ニパチ」業態、「や台や」業態及び「これや」業態であり、特に「や台ずし」業態が好調であったことから、当業態を中心に新規出店に努めてまいりました。

「や台ずし」業態は新規出店34店舗を実施し、店舗数が248店舗（フランチャイズ含む）となり、総店舗数の72.3%を占め、当業態の売上高は14,306百万円となりました。

均一低価格居酒屋である「ニパチ」業態は、新規出店3店舗を実施し、店舗数が72店舗となり、総店舗数の21.0%を占め、当業態の売上高は3,439百万円となりました。

串カツ居酒屋である「これや」業態は、店舗数が12店舗となり、総店舗数の3.5%を占め、当業態の売上高は475百万円となりました。

当社は、全ての業態において、や台やグループの基本理念である「元気を持って帰ってもらう店なんやで」を実現することに努めてまいりました。「あたりまえやを当り前に」という社是のもと「元気な声出し、清潔感、笑顔の接客」を着実に実行できるように、上質な接客サービスの向上を目指して取り組んでまいりました。

また新業態の開発にも注力してまいりました。顧客ニーズの多様化が進む中、次なる収益の柱を生み出すべく、継続的な成長に繋げるための取り組みを実践してまいりました。

一方で、利益率の低い店舗については戦略的に撤退や売却を進め、全社的な利益率の改善や人材の効率的な配置転換等を実施することで改善を図ってまいりました。

更に建築店舗・設計デザイン事業部（以下、「建築事業部」という。）は、当事業部の存在を強みとして最大限活用し、店舗展開する際のインシヤルコストの徹底的な抑制、投資回収の早期実現等の達成に大きく寄与しました。

以上の結果、店舗数につきましては、新規出店37店舗、退店12店舗、業態転換1店舗を実施し、当事業年度末の店舗数は343店舗（フランチャイズ含む）となりました。

また、第3四半期までは堅調に推移したものの、その後発生した新型コロナウイルス感染症拡大のため、来店客数が大きく減少したことが影響し、当事業年度の売上高は18,709百万円（前事業年度比4.3%増）、営業利益は2,036百万円（同2.3%減）、経常利益は2,353百万円（同2.0%減）となり、当期純利益は1,256百万円（同18.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における総資産は10,789百万円、負債は3,005百万円、純資産は7,784百万円であり、自己資本比率は72.1%となりました。

(流動資産)

流動資産につきましては前事業年度末に比べ167百万円減少し、7,179百万円となりました。これは主に現金及び預金が260百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては前事業年度末に比べ323百万円増加し、3,610百万円となりました。これは主に建物が315百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債につきましては前事業年度末に比べ821百万円減少し、2,360百万円となりました。これは主に買掛金が567百万円、未払金が130百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては前事業年度末に比べ32百万円減少し、644百万円となりました。これは主に、長期借入金が45百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては前事業年度末に比べ1,010百万円増加し、7,784百万円となりました。これは主に利益剰余金が1,009百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べて520百万円減少し、5,230百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は前年同期に比べ1,163百万円減少し、1,092百万円となりました。これは主に、仕入債務の増減額668百万円及び未払金の増減額223百万円の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は前年同期に比べ353百万円増加し、1,310百万円となりました。これは主に、固定資産の取得による支出345百万円の増加によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は前年同期に比べ5百万円増加し、302百万円となりました。これは主に、配当金の支払額41百万円の増加及び長期借入金の返済による支出36百万円の減少によるものであります。

当事業年度は、営業活動によるキャッシュ・フローで、新規出店のための固定資産を取得するとともに、長期借入金の返済を着実に実施することで負債比率の圧縮に努めております。

(4) 今後の見通し

2021年3月期の業績予測につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難な為、未定としております。

新型コロナウイルス感染対策による外出自粛要請、店舗の休業要請は当社業績に多大な影響を与えます。業績予想につきましては開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の業務は日本国内に限定されており、海外での活動がないことから当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS(国際財務報告基準)採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,831,788	6,570,841
売掛金	178,168	216,587
完成工事未収入金	1,257	1,997
未成工事支出金	413	—
原材料及び貯蔵品	142,351	168,678
前払費用	110,092	117,040
未収入金	80,003	101,648
その他	2,343	2,251
流動資産合計	7,346,419	7,179,046
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,932,613	2,248,260
構築物(純額)	53,294	54,364
車両運搬具(純額)	3,773	2,385
工具、器具及び備品(純額)	247,817	244,986
土地	185,393	281,252
建設仮勘定	8,992	3,888
有形固定資産合計	2,431,886	2,835,137
無形固定資産		
ソフトウェア	1,611	1,161
その他	3,615	3,222
無形固定資産合計	5,226	4,384
投資その他の資産		
投資有価証券	2,161	1,936
出資金	172	177
従業員に対する長期貸付金	107	—
長期前払費用	32,240	30,589
繰延税金資産	271,255	170,961
差入保証金	496,026	519,320
その他	48,251	48,507
貸倒引当金	△135	△135
投資その他の資産合計	850,081	771,358
固定資産合計	3,287,194	3,610,880
資産合計	10,633,614	10,789,927

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	4,111	4,158
買掛金	1,063,135	495,992
工事未払金	484	328
1年内返済予定の長期借入金	55,814	45,000
未払金	826,576	695,608
未払費用	98,958	79,204
未払法人税等	535,812	389,967
未払消費税等	200,672	234,254
預り金	121,099	89,432
前受収益	133,767	135,317
設備関係支払手形	62,243	50,199
設備関係未払金	79,254	140,975
その他	572	541
流動負債合計	3,182,502	2,360,980
固定負債		
長期借入金	50,413	5,413
役員退職慰労引当金	375,297	398,511
長期前受収益	249,290	238,229
その他	2,312	2,312
固定負債合計	677,313	644,466
負債合計	3,859,816	3,005,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,229	335,894
資本剰余金		
資本準備金	363,334	363,999
資本剰余金合計	363,334	363,999
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	6,074,662	7,084,067
利益剰余金合計	6,074,662	7,084,067
自己株式	△515	△515
株主資本合計	6,772,710	7,783,445
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,088	1,035
評価・換算差額等合計	1,088	1,035
純資産合計	6,773,798	7,784,480
負債純資産合計	10,633,614	10,789,927

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高		
店舗売上高	17,891,765	18,698,590
完成工事高	42,625	10,489
売上高合計	17,934,390	18,709,080
売上原価		
店舗売上原価	5,698,848	5,875,358
完成工事原価	31,890	10,196
売上原価合計	5,730,739	5,885,554
売上総利益	12,203,651	12,823,525
販売費及び一般管理費	10,120,324	10,787,417
営業利益	2,083,327	2,036,108
営業外収益		
受取利息及び配当金	815	992
協賛金収入	305,117	306,074
その他	12,324	10,496
営業外収益合計	318,256	317,563
営業外費用		
支払利息	87	9
その他	234	—
営業外費用合計	321	9
経常利益	2,401,262	2,353,662
特別利益		
固定資産売却益	1,999	5,782
受取補償金	54,752	16,137
特別利益合計	56,752	21,920
特別損失		
固定資産除却損	3,949	3,174
減損損失	118,371	262,625
特別損失合計	122,321	265,799
税引前当期純利益	2,335,694	2,109,783
法人税、住民税及び事業税	833,981	752,340
法人税等調整額	△36,662	100,467
法人税等合計	797,318	852,807
当期純利益	1,538,376	1,256,975

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金				
当期首残高	334,279	362,384	4,742,445	△515	5,438,592	1,658	5,440,251
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	950	950			1,900		1,900
剰余金の配当			△206,158		△206,158		△206,158
当期純利益			1,538,376		1,538,376		1,538,376
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△570	△570
当期変動額合計	950	950	1,332,217	—	1,334,117	△570	1,333,546
当期末残高	335,229	363,334	6,074,662	△515	6,772,710	1,088	6,773,798

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金				
当期首残高	335,229	363,334	6,074,662	△515	6,772,710	1,088	6,773,798
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	665	665			1,330		1,330
剰余金の配当			△247,570		△247,570		△247,570
当期純利益			1,256,975		1,256,975		1,256,975
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△52	△52
当期変動額合計	665	665	1,009,404	—	1,010,734	△52	1,010,682
当期末残高	335,894	363,999	7,084,067	△515	7,783,445	1,035	7,784,480

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	2,335,694	2,109,783
減価償却費	390,909	402,064
長期前払費用償却額	12,228	14,391
減損損失	118,371	262,625
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	23,460	23,214
受取利息及び受取配当金	△815	△992
支払利息	87	9
固定資産売却益	△1,999	△5,782
固定資産除却損	3,949	3,174
受取補償金	△54,752	△16,137
売上債権の増減額(△は増加)	△28,326	△39,158
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,639	△25,913
仕入債務の増減額(△は減少)	101,123	△567,253
未払金の増減額(△は減少)	92,622	△130,967
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,149	33,581
前受収益の増減額(△は減少)	7,508	1,550
長期前受収益の増減額(△は減少)	△21,933	△11,060
その他	48,311	△80,042
小計	3,032,950	1,973,085
利息及び配当金の受取額	815	992
利息の支払額	△90	△9
法人税等の支払額	△832,820	△898,185
補償金の受取額	54,752	16,137
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,255,607	1,092,021
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,125,000	△1,400,000
定期預金の払戻による収入	900,000	1,140,000
固定資産の取得による支出	△675,299	△1,020,596
固定資産の売却による収入	2,000	5,783
差入保証金の差入による支出	△48,431	△41,413
差入保証金の回収による収入	6,216	17,149
貸付金の回収による収入	80	227
長期前払費用の取得による支出	△16,628	△11,770
その他	△373	△256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△957,436	△1,310,877
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	1,900	1,330
長期借入金の返済による支出	△92,553	△55,814
配当金の支払額	△206,171	△247,601
その他	—	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△296,824	△302,090
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,001,346	△520,946
現金及び現金同等物の期首残高	4,750,442	5,751,788
現金及び現金同等物の期末残高	5,751,788	5,230,841

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	656.76円	754.24円
1株当たり当期純利益金額	149.18円	121.83円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	148.69円	121.49円

(注) 1 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	1,538,376	1,256,975
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,538,376	1,256,975
普通株式の期中平均株式数(株)	10,312,100	10,317,261
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	33,474	28,342
(うち新株予約権)(株)	(33,474)	(28,342)

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	6,773,798	7,784,480
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	10,313,939	10,320,939

(重要な後発事象)

該当事項はありません。